

印象記

平成 27 年度 (公社)奈良県理学療法士協会専門領域勉強会 特別講習会 「肩関節の理学療法 ―拘縮治療を中心に―」に参加して

理学療法士の免許を取得して、まだ1年目と経験も浅く、治療内容もルーティンワークになりつつあり、患者様への治療方法に悩んでいました。その中で、今回の肩関節の拘縮治療について受講し、何か治療に対してのヒントが掴めればと思い、参加させていただきました。

肩関節の理学療法をテーマに五十肩の発生メカニズムや治療方法・成績などの講義とランドマークや筋の触知、肩関節拘縮の ROM 制限に対しての治療方法の実技を2日間にわたって行って頂きました。講義内容は肩の ROM 制限等の先行研究の治療成績をまとめ、実技ではデモンストレーションと動画を確認しつつ、2人1組でそれぞれ実技内容を確認め合いながら行う形式で、質問等もしやすく非常に分かりやすい講義でした。

今回の勉強会では細かく骨格を触知し、筋線維の走行や作用を把握することの大切さを学びました。1つの筋でも線維の走行の違いでストレッチ方法が変わり、実技ではその細かな操作や持ち方・誘導方法が難しく感じました。特に筋や靭帯の伸張・弛緩を感じる事が難しく、治療の中で数多くの経験を積んで伸張・弛緩を感じ取れるようになりたいと思いました。今回の実技で、肩関節の細かな骨格のランドマークと筋線維の走行や作用を学びましたが、下肢の関節にも同様の方法で治療することができると感じました。もう一度、肩だけでなく股関節や膝関節などのランドマークや筋の走行・作用の確認をして、実際に治療場面で活かしていければと思っています。

今回、2日間にわたって講義・実技をして頂きましたが、講義内容や治療方法を完全に理解できるとは思いません。日々、自主練習を行いながら、実際のリハビリで実践し、試行錯誤を繰り返して、患者様の needs に応えられる理学療法士になれるよう努力していきます。

最後に、ご多忙の中、貴重な時間を作っていただきました福吉先生・小野先生をはじめ、勉強会スタッフの皆様方にお礼を申し上げます。

白庭病院 西谷輝

